

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		中学校空調設備整備事業						予算事業名		中学校施設整備事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
				10	03	82	2001	経常経費						
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文						事業の区分		主要事業				
		4-1生きる力を育む教育環境づくり (学校教育)								重点事業				
		②安心して学べる学校づくりの推進						担当課係等		学校教育課				
1学校施設・設備の充実						施設係								
事業期間		継続 (平成30年度～令和 2年度)												
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
生徒が快適に学ぶことができる夏期の学習環境の整備を図る							設置済 (古河市, 筑西市, 常総市, 五霞町, 境町, 小山市) H30設置 (下妻市, 坂東市) R1 以降設置 (八千代町)							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
エアコン設置 ・ H30 ※補正にて予算計上 実施設計委託 (全3校) 工事監理委託 (全3校) エアコン整備工事 (全3校の普通教室, 音楽室) ・ エアコン設置, 受変電設備改修 ・ R2 工事監理委託 (全3校) エアコン整備工事 (全3校の特別教室, その他教室) ・ エアコン設置							生徒及び教職員							
							【事業をとりまく環境の変化】 ・ 猛暑日が年々増加する中, 熱中症予防など健康面への配慮や授業に集中できる環境の改善要望が学校及び保護者から多く寄せられている ・ H28.8.4子ども議会 「学校のエアコン設置について」の質問 ・ 学校環境衛生管理マニュアル[平成30年度改訂版]において, 快適に学習する上で維持されることが望ましい温度の基準が夏季は30℃以下から28℃以下へと改正された							
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】						
工事監理委託 (全3校) エアコン整備工事 (全3校の特別教室, その他教室) ・ エアコン設置														

■事業費

		H30年度		R01年度				
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	30,905	0	
	県		支	出	金	0	0	
	地		方		債	177,000	0	
	そ		の		他	0	0	
	一		般	財	源	4,530	0	
歳入計 (千円)		212,435		0				
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)		金額 (千円)			
	13 委託料		12,625		0			
	15 工事請負費		199,810		0			
歳出計 (千円) (A)		212,435		0				
伸び率 (%)				皆減				
備考	総合計画 115ページ 予算書 ページ							

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	エアコン整備率	%	目標	100.00	0.00	0.00
	普通教室		実績	100.00	0.00	0.00
	エアコン整備率	%	目標	0.00	0.00	100.00
	特別教室		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	教育環境整備のため必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外に実施できない。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	機器の選定や工法を十分に検討する時間が足らなかったが、現状においては最善の手法で進められた。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全校において同時期に整備されたため、偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	最も需要の高い夏期に間に合い、効果は非常に高い。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	学校や業者の協力もあり、順調に進められた。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
近年の猛暑への対策のため緊急的に開始した事業となり、関係機関との調整や財源確保等の課題があったが、国庫補助金の活用や入札方法の柔軟的な対応等、市が一丸となって進めた結果、非常に効果の高い事業となった。今後は、令和元年5月に策定した運用指針に基づき、エアコンの効率的な稼働による光熱費の削減への配慮が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
今後、特別教室への整備にあたっては、事業費の削減のため、教室の利用頻度等を考慮し、設置教室を選定することが必要である。また、工法や機器についてもコスト削減に向けて検討する必要がある。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 国庫補助金を活用し整備することで、生徒及び教職員の教育環境の改善を図る。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	